



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 イメージ情報開発株式会社 上場取引所 東
コード番号 3803 URL http://www.image-inf.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 代永 拓史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 辻 隆章 TEL 03(5217)7811
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	253	△10.9	△10	—	△9	—	△18	—
2023年3月期第2四半期	284	△16.4	△29	—	△28	—	△30	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △19百万円（-％） 2023年3月期第2四半期 △17百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△9.16	—
2023年3月期第2四半期	△14.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	671	339	50.5	168.14
2023年3月期	706	358	50.7	177.94

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 339百万円 2023年3月期 358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	—
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	620	13.5	13	—	10	—	2	△95.6	1.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	2,080,000株	2023年3月期	2,080,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	63,759株	2023年3月期	63,759株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	2,016,241株	2023年3月期2Q	2,016,241株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における経済環境をみると、約3年間にわたり大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが制御され、社会経済活動の正常化に向かいつつあるものの、エネルギー価格をはじめとする物価高騰の影響等により、本格的な景気回復には道半ばのまま推移いたしました。また、欧州での紛争に端を発する地政学的リスク等、社会や経済環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。一方、当社グループの主要な事業領域である情報サービス業界においては、事業の強化やビジネスモデルの変革を推進するDX(デジタルトランスフォーメーション)関連の需要が増加しており、今後の成長に不可欠な分野に対しての投資需要は継続して期待されております。

このような事業環境の下、2022年3月期～2024年3月期の3か年の中期経営計画を策定し、事業規模の拡大による企業価値向上に向け、以下の主要施策に取り組んでおります。

- ①収益が悪化している事業の見直し
- ②積極的な事業投資
- ③ITソリューション分野における提携関係の強化
- ④事業推進管理の強化による営業黒字の継続、拡大
- ⑤継続的な事業拡大に向けたビジネスモデルの整備
- ⑥成長加速のための資金調達およびM&Aを含めた他社との提携

これらの主要施策の推進にあわせて、当社の強みの根幹である技術力と人材力に磨きをかけるための積極的な投資や、ソリューションベンダーとの連携による最適ソリューションの提供、業務サービスの企画・開発等に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は253,179千円(前年同期比11.0%減)となりました。利益面におきましては、営業損失は10,524千円(前年同期は営業損失29,059千円)、経常損失は9,401千円(前年同期は経常損失28,555千円)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は18,471千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失30,151千円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。売上高につきましては、外部顧客への売上高を表示しています。

[ITソリューション]

企業システムのコンサルティング及び設計、開発につきましては、ソリューションベンダーとの連携による最適ソリューションを提供する活動を進めております。また、既存顧客の深耕を進めてまいりましたが、前年対比で減収となり、売上高は202,430千円(前年同期比18.1%減)、セグメント利益は63,584千円(前年同期比16.2%増)となりました。

[BPO・サービス]

BPO(業務アウトソーシング)及び決済代行等各種サービスにつきましては、積極的な営業活動による新しいサービスとして会員代行管理サービス等の新規受注が拡大しました。その結果、売上高は50,749千円(前年同期比34.4%増)、セグメント利益は9,059千円(前年同期比2.9%増)となりました。

[その他]

新規事業の展開に向けた成長加速のための資金調達及び事業提携を含めた新規事業等の創出を進めております。当セグメントにおきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高はありませんでした。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は671,058千円となり、前連結会計年度末に比べ35,834千円減少いたしました。主な増減は前払費用の減少6,105千円、預け金の減少37,000千円、未収還付法人税等の減少23,741千円、ソフトウェア仮勘定の増加30,666千円となっております。

(負債)

流動負債の残高は158,720千円となり前連結会計年度末に比べ23,166千円減少し、固定負債の残高は173,322千円となり前連結会計年度末に比べ7,088千円増加しました。これは主に短期借入金41,670千円を返済したためであります。

この結果、総負債の残高は322,042千円となり前連結会計年度末に比べ16,077千円減少しました。

(純資産)

純資産の残高は339,015千円となり前連結会計年度末に比べ19,756千円減少しました。これは主に利益剰余金が18,471千円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、50.5% (前連結会計年度末50.7%) となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により67,560千円増加、投資活動により37,605千円減少、財務活動により41,670千円減少しました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金の残高は前連結会計年度末残高より11,715千円減少し、443,195千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により、資金は67,560千円増加(前年同期は28,740千円増加)しました。これは主に、その他の流動資産が33,510千円増加、法人税等の還付額が23,351千円あったこと等により資金が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により、資金は37,605千円減少(前年同期は8,909千円増加)しました。これは主に、無形固定資産の取得による支出35,561千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、借入金の返済により41,670千円減少(前年同期は増減なし)しました。

(4) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

連結業績予測は、前回予想(2023年5月12日)から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	454,910	443,195
受取手形、売掛金及び契約資産	79,361	80,749
仕掛品	81	341
貯蔵品	222	211
前払費用	23,021	16,916
預け金	38,231	1,231
その他	23,903	9,754
流動資産合計	619,732	552,399
固定資産		
有形固定資産	4,240	4,755
無形固定資産	44,015	75,994
投資その他の資産		
投資有価証券	19,815	18,343
繰延税金資産	1,243	2,040
その他	17,844	17,525
投資その他の資産合計	38,903	37,909
固定資産合計	87,160	118,658
資産合計	706,893	671,058
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,808	15,280
未払法人税等	1,670	5,554
賞与引当金	8,811	14,977
短期借入金	106,664	64,994
その他	52,931	57,913
流動負債合計	181,886	158,720
固定負債		
退職給付に係る負債	162,663	170,319
繰延税金負債	3,570	3,002
固定負債合計	166,234	173,322
負債合計	348,120	332,042

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	301,000	301,000
資本剰余金	8,552	8,552
利益剰余金	92,832	74,361
自己株式	△54,005	△54,005
株主資本合計	348,379	329,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,393	9,107
その他の包括利益累計額合計	10,393	9,107
純資産合計	358,772	339,015
負債純資産合計	706,893	671,058

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	284,771	253,179
売上原価	221,274	180,536
売上総利益	63,497	72,643
販売費及び一般管理費	92,556	83,168
営業損失(△)	△29,059	△10,524
営業外収益		
受取利息及び配当金	119	99
受取家賃	500	—
雑収入	185	2,954
営業外収益合計	804	3,053
営業外費用		
支払利息	300	299
雑損失	—	1,274
その他	—	358
営業外費用合計	300	1,931
経常損失(△)	△28,555	△9,401
特別利益		
投資有価証券売却益	222	—
特別利益合計	222	—
特別損失		
訴訟関連費用	1,092	5,100
特別損失合計	1,092	5,100
税金等調整前四半期純損失(△)	△29,425	△14,502
法人税、住民税及び事業税	245	4,764
法人税等調整額	481	△796
法人税等合計	726	3,968
四半期純損失(△)	△30,151	△18,471
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,151	△18,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,819	△1,285
その他の包括利益合計	12,819	△1,285
四半期包括利益	△17,332	△19,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,332	△19,756

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△29,425	△14,502
減価償却費	1,137	4,684
その他の償却額	165	165
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,022	6,165
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,793	7,655
受取利息及び受取配当金	△119	△99
支払利息	300	299
投資有価証券売却損益(△は益)	△222	—
売上債権の増減額(△は増加)	47,198	△1,387
棚卸資産の増減額(△は増加)	△315	△248
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,572	3,472
その他の流動資産の増減額(△は増加)	21,994	33,510
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,828	4,694
小計	43,129	44,408
利息及び配当金の受取額	119	99
利息の支払額	△300	△299
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△14,206	23,351
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,740	67,560
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△151	△1,818
無形固定資産の取得による支出	—	△35,561
投資有価証券の取得による支出	△396	△379
投資有価証券の売却による収入	10,721	—
その他	△1,263	153
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,909	△37,605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	—	△41,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△41,670
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	37,650	△11,715
現金及び現金同等物の期首残高	504,972	454,910
現金及び現金同等物の四半期末残高	542,622	443,195

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当する事項はございません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。